



週刊市議会ニュース

2021年
議員団ニュース
No.373
2021.9.22 発行

金沢市ガス事業・発電事業譲渡関連議案が可決 市民の財産を大手企業に売却するな!の声が広がり、 否決まであと4票までに迫る

- 1 金沢市ガス事業・発電事業譲渡関連議案が、9月17日最終本会議で賛成27票、反対9票、棄権1人、欠席1人という結果、可決されました。
- 2 ガス事業は、本市の重要施設であることから本市市有財産条例の特別議決（出席議員数の3分の2以上の賛成）が必要でした。
- 3 100年余にわたり市営事業として運営されてきたガス事業・発電事業を譲渡する方針が打ち出されて以来、市民の様々な取り組みが展開され、広がる中で、市議会での採決が行われました。
- 4 議会での議論を通じて、問題が次々に出され、こうした事態では、譲渡は進められないという状況が作り出されました。コロナ禍の影響もあり、当初予定していた6月議会への譲渡関連議案は、上程できず9月議会となりました。来年4月からの新会社による事業開始が迫るもと、議会での議論とともに、ストップさせようとの市民運動が広がりました。
- 5 残念ながら、否決には至りませんでした。議会内での共闘、市民とともに連携した取り組みなど貴重な戦いとなりました。
- 6 現在、河川法に違反する点を取り上げた住民監査請求が取り組まれています。来年4月までの新会社による事業開始までには法的な許認可、本市職員の81名にのぼる退職派遣など問題が多くあります。引き続き、市民の皆さんと取り組んでいきます。



森尾よしあき議員

ガス・発電議案採決態度

議案第22号、議案第24号、議案第32号、議案第33号、議案第41号

(敬称略)

※議長であるため、特別議決の議案第32号のみ採決に参加

賛成	27人	自民党	15	高村佳伸	横越 徹	福田太郎	宮崎雅人	野本正人	高岩勝人	前 誠一	小間井大祐
				上田雅大	荒木博文	喜多浩一	高 誠	坂本泰広	中川俊一	※久保洋子	
		公明党	3	秋島 太	源野和清	稲端明浩					
		令政会	1	松村理治							
		みらい	3	中西利雄	麦田 徹	田中美絵子					
		金沢保守	2	澤飯英樹	小林 誠						
		市議会自民	3	黒沢和規	清水邦彦	下沢広伸					
反対	9人	みらい	3	森 一敏	山本由起子	喜成清恵					
		日本共産党	3	森尾嘉昭	広田美代	大桑初枝					
		金沢保守	2	新谷博範	栗森 慨						
		創生かなざわ	1	熊野盛夫							
退席	1人	創生かなざわ	1	玉野 道							
欠席	1人	公明党	1	上原慶子							

本市議員定数は38人。
欠席議員が1人、棄権退場1人でした。
可決するには3分の2の24人以上の賛成が必要。
13人以上が反対すれば否決となります。
結果、反対が9人となり、否決まであと4人に迫りました。

9月定例月議会 一般質問 広田議員(9/14)

問 ご家庭に負担なく、学習用端末が使えるように
学習用端末の家庭への持ち帰りが始まっているが、通信環境が整っていないご家庭はどれくらいあるのか？また、家庭に負担させるべきではなく、貸出ルーターをSIMカードを付けてお渡しするべきではないか。

答 5月の調査では、家庭で端末に接続できない子どもは約3,500名いたが、現在の状況は調査中である。臨時休業の際は、教育委員会にある貸出ルーターにSIMカードをつけて配布するが、今後は学校ですぐ対応できるように準備に入る。(教育長)



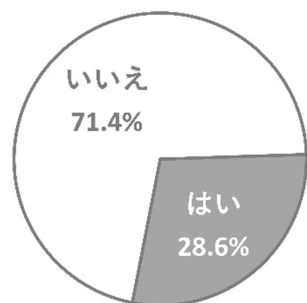
広田みよ議員

問 **学校トイレでの生理用品の配置を求める**
小中高生へのアンケートでは、「保健室に生理用品がもらいに行きやすいか？」に「いいえ」が71.4%、「学校のトイレに生理用品が置いてあったらよいと思うか？」に「はい」が94.3%であった。誰に言わなくても気軽に生理用品を手にとれ、安心して学校生活を送るためにも、学校トイレに生理用品を配置すべきだがどうか。

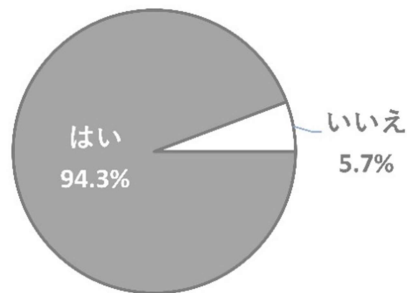
答 現在の保健室での使用状況や養護教諭の意見も踏まえ、トイレ配置での管理面や衛生面の課題を整理したい。その上で、教育的観点から保健室に配置しながら、思春期の児童生徒の信条に配慮できる方法がないか、他都市や他施設の取り組み踏まえ、今しばらく研究したい。(教育長)

教育長

⑤保健室に生理用品が置いてありますが、もらいに行きやすいですか？35件の回答



⑥生理用品が学校のトイレに置いてあったらいいと思いますか？35件の回答



9月定例月議会 一般質問 大桑議員(9/15)

問 **障害のある方への支援について**
障害を持った方は、障害者総合支援法に基づいていろいろなサービスがある。サービスを知らなく、支援が届かない方たちへの対策。特にコロナかで社会的に孤立しやすい方々の声を把握し支援に結び付けるにはどのようにされているのか。

答 障害者手帳を持ちながら障害福祉サービスを利用していない方の実態を把握することは、大切なことだと考え、療育手帳を持ちながらサービスを利用していない方を訪問し、生活実態調査を行い本人のニーズのあった支援につなげている。今後は精神障害者保健福祉手帳を持っている方でサービスを利用していない方にも拡大して取り組んでいきたい。(市長)

問 **コロナで子育て世帯からのご相談について**
①子どもや親が感染したら、入院や療養はどうなるのか。②学校や保育所が休みとなり、親も仕事を休む必要がある場合の休業補償のご案内をするべきだがどうか

答 ①原則親子が一緒に入院、または自宅で療養できるよう、調整している。ただ、保護者が重症となった場合は保護者のみの入院となるが、子どもは安全に過ごせるよう預かり先を調整している。
②国は、小学校休業等対応助成制度に加え、保護者が直接申請できる休業支援制度の運用を開始すると発表した。『金沢子育てお役立ちウェブのびのびビ〜ノ』を活用し、これらの支援策が広く行き届くように努める(市長)



大桑初枝議員

市長

議員の質問の答弁の全文が必要の方はご連絡ください。



日本共産党金沢市議員団

金沢市広坂1-1-1 金沢市役所 7階

TEL 076-220-2407

FAX 076-260-6588

mail:jcp.kccd@spacelan.ne.jp

